

クラス番号	904	担当教員名	野村 あすか
テーマ	特別なニーズのある子どもにとっての「幸せ」とは？		

## ゼミナール概要

### 【目的、内容、方法等】

保育や教育の現場において、何らかの障害があったり家庭環境が複雑であったりする子どもたちと出会うことは、決して珍しいことではありません。ともすれば、集団行動の難しい「困った」存在として、また、気持ちをうまく言葉にできないために「何を考えているのかよく分からない」存在として捉えられてしまいがちな子どもたちですが、彼・彼女らの本当の思いはいったいどのようにして汲み取っていけばよいのでしょうか。また、子どもたちを取り巻く家族やさまざまな支援者は、日々どのような思いを持ちながら子どもたちとかかわっているのでしょうか。

このゼミでは、何らかの特別なニーズを抱えた子どもたちの「生活」や「こころ」についてじっくりと考える場を設けていきます。また、子どもたちを取り巻く家族や支援者の声に耳を傾けていく中で、特別なニーズを抱える子どもたちにとっての「幸せ」とは何かについて、自分なりの見方や考え方を育てるようになることを目標とします。

### 【授業計画】

#### <前期>

- ◆ 文献や資料から、子どもの「生活」や「こころ」を捉える  
さまざまな文献や資料に触れながら、特別なニーズのある子どもに対する理解を深めていきます。具体的には、以下のような方法を計画しています。
  - ・ 子どもの発達にかかわる文献を要約し発表する
  - ・ 現代の子どもを抱える問題に関する新聞記事を収集し、ディスカッションを行う
  - ・ 子どもの絵や文章から、背景にある思いを想像する

#### <後期>

- ◆ グループごとにテーマを設定し、子どもを取り巻く家族や支援者の声に耳を傾ける  
特別なニーズのある子どもたちを取り巻く家族や支援者に焦点を当て、子どもたちの課題をどのように捉え、どのような思いで日々かかわっているのかなどを明らかにしていきます。
  - ・ 小グループに分かれ、関心のある領域を絞り込む
  - ・ 再度、テーマにかかわる文献収集をしながら質問項目を定め、家族や支援者への聞き取りを行う  
(主なフィールド：保育園、小学校、療育機関、自閉症協会など)
  - ・ 得られた成果を発表し、学び合う
  - ・ これまでの学びを踏まえて、特別なニーズのある子どもたちにとっての「幸せ」とは何かを自分なりに考える

### 担当教員からのメッセージ



私の専門は、福祉の分野とも関連の深い領域である臨床心理学です。これまでに、子どものメンタルヘルスにかかわる研究を続ける傍ら、保育園の巡回指導員や小学校の心の相談員（スクールカウンセラー）等を通じて、知的障害や発達障害など何らかの支援ニーズのある子どもやその保護者、そしてさまざまな支援者の方々とかかわってきました。会うたびに成長・発達を遂げていく子どもたちの姿や、保護者や支援者の方々の生の声からは、学び考えさせられることが数多くあります。

ゼミでは、みなさんの興味関心に触れられること、互いに学び合えること、そして新たな可能性を発見していけることを楽しみにしています。子どもや子どもを取り巻く環境に興味があり、子どもたちのよりよい成長・発達に向けて積極的に学んでいきたいという方を歓迎します。